

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開
研究テーマ名	「社会価値」に関する規範的・倫理的判断のメカニズムとその認知・神経科学的基盤の解明
研究代表者	亀田達也
所属機関・部局・職	東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>複数の領域にわたる研究者との共同によって一定の成果がでており、国内外においても積極的な発信をしていることはとりわけ評価しうるものである。特に脳科学との連携や、それを踏まえた進化的・複雑系的アプローチへの展望が得られたということは、大いに期待がもて、当初の研究目的に応じた結果がでていると考えられる。しかしながら同時に、このような研究が、従来の人文学・社会科学で行われてきた成果の認知・神経科学的基盤を探るものとしては理解できつつも、この研究によって人文学・社会科学側にどのような形で新たな研究を促進させるのか、あるいは新たな領域が開拓されるのかなどについては、明確ではないと考えられる。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い